

## 在セネガル日本国大使館月報

2020年12月

### 主な出来事

#### セネガル

##### (内政)

- ゲイ地方自治体大臣は、地方自治体に関する法律に根拠規定がないとして、ダカール、ゲジヤワイ、ピキン、リュフィスク及びティエスの5つの市の削除を発表した。
- 23日、サル大統領は閣議にて、コロナが依然として感染拡大を続けていることに鑑み、ブレーズ・ジャーニュ空港や国境にて警戒を怠らないよう述べた。

##### (外政)

- 国連食糧農業機関(FAO)、国際農業基金(IFAD)、世界食糧計画(WFP)は、コロナ及び地球温暖化に起因する食糧危機への対策として、G5サヘルの国々及びセネガルへ約100億米ドルの供与を行うこととした。
- 14日、サル大統領は、コートジボワールを訪問し、ウワタラ大統領の大統領就任式に参加した。

##### (日本関連)

- 10日、JICAは、ABEイニシアティブ・プログラムのセネガル人帰国生の報告会を開催し、7名の帰国生が、新井大使及びチュン雇用・職業訓練・実習・就職省次官の前で、自身の経験を発表した。
- 15日、日・セネガル投資促進経済委員会(経済委員会)第2回会合が開催された。

#### カーボベルデ

- 在カーボベルデ日本大使館は、サンティアゴ島タラファル市女性のための職業研修センター増改築計画に対する資金贈与契約署名式を開催し、新井大使と被供与団体(カーボベルデ女性協会)代表が出席した。今回の支援を通じ、職業訓練において質の高い教育を提供する環境を整備することができる。

#### ガンビア

- ンジャイ財務・経済大臣は、2019年の経済成長率につき、コロナの影響を受け、当初見込みの+6.5%から、9年間で最低となる-1.5%へと下方修正される旨発表した。

#### ギニアビサウ

- グテーレス国連事務総長は、国連ギニアビサウ統合平和構築支援事務所(UNIOGBIS)の閉鎖に伴い、同事務所職員に対して今までの取組みにつき謝意を述べるとともに、ギニアビサウの平和と安定のため、国際社会に対して継続したコミットメント及び貢献を呼びかけた。

注:

- ・文中の「コロナ」とは特別な記載がない限り、「新型コロナウイルス」のことを指すこととする。
- ・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:タル外務・在外自国民大臣→タル外務大臣など)

## **セネガル**

### **(内政)**

- 2日、サル大統領は閣議にて、コロナの市中感染者数が増加していることに鑑み、交通機関や公的場所におけるマスク着用などのコントロール強化を政府に命じた。(3日 Le Soleil)
- ジョブ雇用・職業訓練・実習・就職大臣は、同省予算審議の際に、45の県に職業訓練校を創設することを発表した。(5日 Le Soleil)
- ンドイ漁業大臣は、漁業従事者の安全及び収入安定のため、セネガル CFAO モーターから漁船38隻の寄贈を受けた。(9日 Le Soleil)
- 11日、サル大統領は、2019年度マッキーサル・アフリカ対話賞を、故ジョモ・ケニヤッタ大統領の婦人である Mama Ngina Kenyatta 氏に授与した。(12-13日 Le Soleil)
- ゲイ地方自治体大臣は、地方自治体に関する法律に明確な根拠規定がないダカール、ゲジャワイ、ピキン、リュフィスク及びティエスの5つの市の削除を発表した。(14日 Le Soleil)
- サル大統領は閣議にて、コロナの感染拡大防止のため、新たな措置をとるよう政府に要請した。(17日 Le Soleil)
- サル大統領は、教育に関するフランコフォニー政府閣僚会議(la Conférence des ministres de l'Education des Etats et gouvernements de la francophonie)にて、セネガルにおける教師を指導するため視察官を増やすことを要望した。(22日 Le Soleil)
- 23日、サル大統領は閣議にて、コロナが依然として感染拡大を続けていることに鑑み、ブレーズ・ジャーニュー空港や国境にて警戒を怠らないよう述べた。(24日 Le Soleil)

### **(外政)**

#### **二国間関連**

- 国連食糧農業機関(FAO)、国際農業基金(IFAD)、世界食糧計画(WFP)は、コロナ及び地球温暖化に起因する食糧危機への対策として、G5サヘルの国々及びセネガルへ約100億米ドルの供与を行うこととした。(2日 Le Soleil)
- 3日、サル大統領は、ジスカール・デスタン元仏大統領の訃報に際し、マクロン大統領、遺族及び仏国民へ哀悼の意を述べた。(3日 Twitter)
- EU は、セネガルに対して移民対策として1億6000万 FCFA 相当の車輛を供与した。(18日 Le Soleil)
- 10日、サル大統領は、アフリカ・ガリアンフォーラムにオンライン形式で参加し、セネガルは2018年以降、アフリカにおける医薬学分野での科学と技術の進展を促す同行事に参加している旨述べた(10日 Twitter)
- 14日、サル大統領は、コートジボワールを訪問し、ウワタラ大統領の大統領就任式に参加した。(14日 Twitter)
- 17日、サル大統領は、マクロン仏大統領のコロナウイルス感染を受け、お見舞いととも一刻も早い快癒を願う旨述べた。(17日 Twitter)

#### **国際情勢・国連機関支援**

- 世銀は、地球温暖化による農業面での被害対策のため、セネガルを含むアフリカ諸国に324億米ドルを供与することを決定した。(12-13日 Le Soleil)

## **日本関連**

- 10日、JICAは、ABEイニシアティブ・プログラムのセネガル人帰国生の報告会を開催し、7名の帰国生が、新井大使及びチュン雇用・職業訓練・実習・就職省次官の前で、自身の経験を発表した。同次官は、獲得したツールを活用して起業するよう促した。新井大使は、本プログラムは、日本の知見・ノウハウを習得することで、アフリカの若者の能力強化を目指すツールであると述べた。(11日 Le Soleil)
- Woodside と三井海洋開発は、サンゴマール(Sangomar)油田開発のため、FPSO(浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)のオペレーション及びメンテナンスにつき合意を結んだ。(15日 Le Soleil)
- 15日、日・セネガル投資促進経済委員会(経済委員会)第2回会合が開催された。(16日 Le Soleil)
- 日本は、新井大使の出席の下、保健省に対して JICA を通じ500万 FCFA の物資供与を行った。(23日 Le Soleil)

## **(経済)**

- 採取産業透明性イニシアティブ(EITI)は、2019年の財務年度における採取産業部門での収入が1610億 FCFA に上ったとの推測を発表した。2021年1月1日より、採取に係る全ての契約には公表義務が課されることとなっている。(18日 Le Soleil)

## **カーボベルデ**

- セネガル及びナイジェリアを訪問中のソアレシュ首相付地域統合大臣は、記者会見の中で、カーボベルデ政府はECOWASに効果的に参加するため、約2,000万米ドルに上るECOWAS共同税の支払方法を模索していることを明らかにした。(2日 Expresso das Ilhas)
- ソアレシュ大臣はセネガル訪問中、ECOWAS内にてカーボベルデの小島嶼国の特異性を考慮することを求めるフォンセカ大統領のサル大統領宛メッセージを伝えた。また、同大臣はタル外務大臣との会合の中で、フォンセカ大統領のサル大統領宛要請への支持を求めるとともに、タヴァルシュ・カーボベルデ外務・共同体大臣からタル大臣に対するカーボベルデ訪問の招待を伝えた。(2日 Expresso das Ilhas)
- 3日、「民主運動党(MpD)」の国会議員で、パンアフリカ議会西アフリカ議員グループのリーダーであるエリオ・サンシエス氏が、2021年大統領選挙への立候補の意を表明した。同氏は「エリオ・サンシエス立候補支持運動(MACHS)、カーボベルデ人、ディアスポラに対し、この挑戦に立ち向かう準備ができています」と表明した。(3日 Expresso das Ilhas)
- 10日、在カーボベルデ米国大使館は、「カーボベルデにおけるコロナへの迅速な対応」とするプログラムの枠組みで、民間部門が補助金を申請するよう懇請するコミュニケを発出した。同補助金は米国が以前、経済支援基金へ供与した1500万米ドルが財源となっている。(12日 Inforpress)
- 在カーボベルデ日本大使館は、サンティアゴ島タラファル市女性のための職業研修センター増改築計画に対する資金贈与契約署名式を開催し、新井大使と被供与団体(カーボベルデ女性協会)代表が出席した。今回の支援を通じ、職業訓練において質の高い教育を提供する環境を整備することができ

る。(22日 Inforpress)

## ガンビア

- アンジャイ財務・経済大臣は、2019年の経済成長率につき、コロナの影響を受け、当初見込みの+6.5%から、9年間で最低となる-1.5%へと下方修正される旨発表した。(9日 The Point)
- バロウ大統領は、2025年までに国内の電気の普及率を100%とするため、引き続き努力していく旨を改めて述べた。(9日 The Point)
- 初等中等教育省次官は、ユネスコとKOICAの共同プロジェクトであるTVET(Technical and Vocational Education and Training)のコンサルタントによる表敬を受け、同計画が初等中等教育省にとって中心的な政策の一つであり、若者が海外に出ずとも国内で十分に満足できる人材育成環境を整えたい旨述べた。(11日 The Point)
- KOICAは、国連薬物犯罪事務所(UNODC)を通じて、ガンビア政府へ、拘置所の環境整備に資するものとして最新の調理器具10点を供与した。(10日 The Point)

## ギニアビサウ

- ポルトガルのコスタ首相は、サントメプリンシペとギニアビサウ訪問を予定していたが、直近で会談したマクロン仏大統領のコロナ陽性が16日に確認されたため、訪問をとりやめた。(18日 Odemocrata)
- グテーレス国連事務総長は、国連ギニアビサウ統合平和構築支援事務所(UNIOGBIS)の閉鎖に伴い、同事務所職員に対して今までの取組みにつき謝意を述べるとともに、ギニアビサウの平和と安定のため、国際社会に対して継続したコミットメント及び貢献を呼びかけた。(31日 UN News)

(注)本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)